

全施連 ニュース

発行者
一般社団法人
全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
編集 集
全施連広報部会
住所
〒650-0016
神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター内
078-371-3930

全施連第三回理事会開催される

平成26年2月4日、5日、全国25県連から総勢43名の代議員等が大阪に集まり、全施連の平成25年度第3回理事会在開催されました。

本理事会では、全施連の会費改定、活動の振り返りと平成26年度の課題、
「全国大会in愛知・東日本大震災義援金・虐待防止等」について議論を行いました。詳細は各県連からお伝えするということですが、ここでは概要のみご報告いたします。

会費改訂が決まりました

全施連の会費改定については、数年来議論を重ねてきましたが、札幌での第2回理事会で、由岐理事長から「平成26年度から、会費改定をD案で行いたいのので、各県連で検討をお願いしたい」という提案がありました。

これを受けて今回の理事会では、まず各県連での検討結果を聞き、それを踏まえて会費改定

の討議を行いました。

各県連の意見(例)

・県内で3、4回議論した。D案でやむを得ないと思うが会費算定の上限が撤廃されたなら、代議員数は会費負担に応じた数

D案：六万円＋千五百円×加入施設数

加入施設数は平成26年4月1日現在の施設数を改めて全施連にご報告いただきます。

にしてほしい。

・まずはD案に反対の意見を聞くべきだ。駄目なら提案をやり直すことになる。

・県内の議論では賛成意見と反対意見が半々だった。

・B案ではどうか。

・1人百円と言う案はどうか。

・D案の金額が今後の活動に必要ななら、まずD案ではどうかを議論したい。

・この数年は会費値上げの議論をしてきたが今回は決めるべきだ。折衷案では根底からの議論になる。等々

各県連はそれぞれ財政的な悩みを持っているため、ご紹介したようにさまざま意見が出ましたが、最終的に「全施連の活動を伸ばしていくためには、会費改訂を行っていくべきだ」という意見が提起されて、最終的にD案が承認されました。

財政事情から一挙にD案による会費負担増は難しい県連については、執行部が、3年をめぐりにD案にすることを前提とする漸増案について、該当県連と調整することになりました。また、会費算出式にある施設

数については、各県連の実数を再確認したうえで、会費の額を算出することなども併せて決めました。その詳細については各県連からご報告します。

各県連としても苦しい財政状況にあることはわかりますが、全施連の活動を支えるのが会費収入ですので、会費改訂にぜひご理解を賜りますようお願いいたします

平成25年度の活動計画を振り返る

平成25年度活動計画は、昨年6月の全施連総会で議論のうえ決定したのですが、その主な項目は次のようになっていきます。

えの継続

障害福祉施策(障害者総合支援法・障害者虐待防止法・障害者差別解消法等)に関する情報提供

他の障害団体との連携による全施連意見の発信

全施連の組織強化(未加入県への働きかけ・ブロック会の充実・組織体制強化等)

今回の理事会では、あらかじめ「平成25年度活動計画の振り返り

返りと平成26年度の課題について」各県連からアンケート形式で意見を出していただきました。

アンケートの依頼が遅れたこともあって、一部の県連は理事会までに回答の提出が間に合わなかったことから、理事会では提出された回答と各県連からの意見発表を併用する形で議論が行われました。

各県連からは、現状における問題点の指摘や今後の活動への期待などの声がありました。

その意見をご紹介します

情勢認識の共有化の取り組み
・全施連提言が全国に浸透しないのは、家族の理解を進めるための解説版の発行の遅れが大きい。早く解説版を発行すること、講師陣を充実させて各県での研修会が出来るようにしてほしい。
・国の障害福祉政策の情報等を早めに提供してほしい。
・全施連の公式意見表明をするときには、全施連の加盟県の実態調査を行い、対外的にもっと実態に基づく主張とすべきだ。
活動目標と取組み
・福祉協会、育成会やその他の

障害者団体等と協力して、国や行政へ訴えてほしい。

・活動目標がいまいな為、ブロック会や県内の動きが鈍くなっている。活動目標のさらなる具体化が必要だ。

・各県での具体的取組との連動を考えてほしい(他県からも同意見)。例えば入院時の付添支援、または職員体制の充実等の改善に取り組んでほしい。

・障害者の高齢化、医療専門職の配置、住まいの改善を活動目標で組んでほしい

・全施連の取り組みに感謝している。

組織拡大等の取り組み

全施連総会の日程等が決まりました!

理事会で全施連総会の日程等が決まりました。総会の開催日は平成26年6月18日(水)13時~19日(木)で、会場はチサンホテル新大阪(第3回理事会と同じ)です。詳細については別途全施連事務局からご案内します。

まず見極める。

・全国大会等への意見
・プログラムの見直し等を再度行う時期だ。

理事会での各県代表者間の議論があり、最終的には各県連の理解と支援を得て、引き続き活動計画の達成を図っていくことになりました。

平成26年度の課題は何か

平成25年度活動計画の振り返りをもとに、平成26年度の課題について議論を行いました。

財政問題は会費改定によりひとまず解決しましたので、その他の課題については、今回の議論に加えて、6月の総会までの間に全施連と各県連の連携のもとに、課題の共有

化をさらに図って行くことにしました。

そして具体的には、活動の目的や手段を明確にした「平成26年度活動計画(案)」を、総会に提案することになりました。

その他の議案

全国大会in愛知

次回の全国大会は、10月21日(火)~22日(水)に愛知県豊橋市で開催される予定です。

大会のテーマは「知的障害のある人の生涯を考える」です。

現在、愛知県連が中心になって計画の詳細について詰めています。

具体的な計画が固まり次第各県連にご案内します。

今からご準備いただき大勢のご参加をお願いいたします。

東日本大震災義援金

全施連の呼びかけに添えて、多くの方々から寄せられた東日本大震災義援金総額は六百

四十五万円になりました。

平成23年度に引き続き今年1月に岩手県、宮城県、福島県の家協会・福祉協会代表者に、全施連からの義援金をお届けしました。

各県の関係者の方々からは「今回も多額の義援金をお届けいただき、ありがとうございます。」

今回の義援金も被災された知的障害者施設を中心に配分して、有意義に活かさせてい

ただきます。

全施連の皆様にご心からの「ありがとう」をお伝えください。というお礼の言葉がありましたのでお伝えします。

全施連としましては、各県連の皆様にご厚くお礼を申し上げます。

虐待防止に関する

グループ討議

由岐理事長から重岡修氏の論文「知的障害者施設において虐待が発生する背景」を引用して、全国における虐待件数の推移・虐待の共通点・発生する背景等の報告がありま

した。

併せて最近発生した千葉県袖ヶ浦の福祉型障害児入所施設での虐待死亡事件について、千葉県連から報告がありました。

これらの報告を踏まえて、各県連の参加者が5つのグループに分かれて、「いかにして知的障害者支援施設での虐待を無くすか」というテーマで議論を行いました。

詳細は省略いたしますが、全施連として、虐待防止に引き続き取り組んでいくことが確認されました。

参考：重岡論文

「知的障害者施設において虐待が発生する背景」(2008年3月刊)

<論文の構成>

- ・知的障害者施設での虐待の特性と傾向
- ・知的障害者施設で虐待が発生する背景
- ・山口県内施設での虐待発覚後の経過
- ・施設内で虐待がおこる具体的背景と原因

参考文献他

・おわりに